

陸上、鍼灸師としての糧に

明治国際医療大

坪井 良寛さん



17、18日に行われた陸上のらを診ている。忙しい合間を京都学生対校選手権に、明治縫って練習に励み、「研究を国際医療大（南丹市）から同自分の体で試し、成果を患者に還元したい」という。大学4年だった4年前は三鍼灸師として活動しながら陸上段跳びを制し、走り幅跳びは4位入賞した。

亀岡高出身。陸上選手への理解は治療の効果について大学も深まる。体が動く間は自己院で研究する一方、地元で開業した鍼灸院でスポーツ選手と力を込める。

（堤冬樹）

する 見る 支える

情熱交差点